

# 魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議  
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

## 1 平成26年度「第1回地域コーディネーター研修会」の報告について

- ・ 標記研修会(市生涯学習課, 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催)が, 平成26年7月4日に市総合コミュニティセンターで, 67名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 当日は, 主に新任者や経験の浅い地域コーディネーターを対象に, 先輩地域コーディネーターによる活動事例紹介, 活動の工夫をテーマにした情報交換会を通して, 活動を円滑に進めるためのスキルを学ぶとともに, 地域コーディネーターの役割を再確認したところです。

### 第1部 事業説明 「魅力ある学校づくり地域協議会と地域コーディネーターの役割」

宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課 主任主事 山中敦子

- 魅力ある学校づくり地域協議会の意義は, 「ナナメの関係」による子育てを行うことにある。協議会では, 「ナナメの関係」を生かして地域の子どもたちを多様な人間関係の中で心豊かでたくましく育むために話し合い, 更にその話し合いを受けて地域ぐるみの子育てを実践するとともにその活動を通して大人も地域でのネットワークを広げ, 自らの学びに結びつけることができる。
- 協議会の活動(①活力ある学校づくりへの参画, ②地域の教育力を生かした学校教育の充実, ③地域ぐるみでの児童生徒の健全育成・安全確保, ④学校施設や地域の教育資源を生かした家庭・地域の教育力向上)や地域コーディネーターが担う役割, 学校と地域のコーディネート機能の高め方について「魅力ある学校づくり地域協議会活性化実践事例集」を活用し, 再確認しました。

### 第2部 活動事例紹介

#### 西原小学校 地域コーディネーター 佐藤明美 氏 (学校支援ボランティアと学校のかかわり方)

- コーディネート活動で大切なことは, 学校やボランティアとの信頼関係を築くことである。学校では, 教職員との日常的な連携が不可欠であり, 職員室への顔出しも重要と考える。地域では, 協力者の輪を広げられるよう, アンテナを高くしネットワーク作りを行っている。
- 学習支援ボランティアの意識を高めるため, 顔合わせ会を開催している。ボランティア同士の顔が繋がり, やりがいを感じる場となっている。



#### 清原南小学校 地域コーディネーター 松山聡子 氏 (小学校における具体的な活動)

- 協議会活動を円滑に行うために, 4つの部会を設けている。地域コーディネーターの活動は, ボランティアの募集や学校との調整を図ることであり, 子どもたちやボランティアの方々が「楽しく」活動してくれることが何より嬉しい。
- 地域コーディネーターを長く続けるためのコツは, 新しい人材(後継者)を育てながら, 学校と地域との調整役として良い関係を作っていくことと考える。

#### 上戸祭小学校 地域コーディネーター 増淵洋子 氏 (地域を巻き込んだ活動と心がけていること)

- 協議会の活動を地域住民に理解してもらうためには, まず「学校に来てもらうこと」と考える。祖父母(地域)と孫(子ども)で参加できる活動を企画するなど, 活動内容も工夫している。
- コーディネート活動で心がけていることは, 報告・連絡・相談である。学校や地域の方との連絡を密にとり, 特に問題が生じた場合は, 組織全体で共有し, 対応することが重要である。

「すぐに行動・アンテナを高く・ひとりで抱え込まない」ということをモットーに活動している。

### 陽東中学校 地域コーディネーター 山田葉子 氏（地域コーディネーター活動を始める人へ）

- 中学校の場合，学校から学校支援ボランティアへの依頼は少ない傾向がある。そのため，地域コーディネーターやボランティアから，足を運び，自ら提案する手法をとっている。
- ボランティア活動は，「できる人が，できることを，できるときに」行うものであり，ひとりで抱え込まず，自分の身の丈に応じて，地域の特色を生かした活動を，地域の人との関わりを楽しみながら活動してほしい。

### 第3部 情報交換会

「地域コーディネーター活動で工夫していること」をテーマに，情報交換を行いました。グループ協議の中での主な意見を紹介します。

#### ○学校との連携について

- ・校内に協議会専用の掲示板を設置し，活動内容を知ってもらうことで教職員への理解も深めている。
- ・学校の要望を把握し，整理したうえで，ボランティアと学校をつないでいる。

#### ○地域住民との連携について

- ・自治会など地域団体との情報共有を図っている。
- ・懇談会（フォーラム）を開催し，思いを共有する機会を設けている。

#### ○コーディネーター間の連携について

- ・複数の地域コーディネーターがいるため，お互いの得意分野，人脈を補完しあっている。



## 2 平成26年度「新任教務主任研修」および「教職10年目研修」の報告について

- ・宇都宮市教育センターが主催する標記の研修会にて，学校教職員（今年度教務主任となった者および教職10年目の者）を対象に，魅力ある学校づくり地域協議会をテーマとした研修が行われましたので，両研修に共通する主な内容をお知らせします。

### 第1部 事業説明「魅力ある学校づくり地域協議会について」

宇都宮市教育委員会事務局学校教育課 指導主事 金田操

- 協議会の活性化は，教育委員会重点事業とされている。
- 協議会の活動の意義は，地域の子どもの育ちについて学校・家庭・地域が連携して各々の役割を果たすことにあり，学校は協議会と協力して「地域とともにある学校」を実現することが求められている。



### 第2部 対談「学校と地域が連携するための留意点」

明保小学校 地域コーディネーター 大島和枝 氏

- 協議会活動は，学校を応援するものである。教職員の業務は，忙しく大変だと思うが，単純作業などサポートできることはボランティアを頼っていただき，その分，子どもたちと向き合う時間をより多く作っていただきたい。
- 地域コーディネーターや学校支援ボランティアは，先生からの「お世話になっています」や子どもたちからの「ありがとう」の声やりがいとなり，次の活動への意欲につながる。
- 学校（教職員）の思いが分かれば，地域として「何ができるか」を考え，提案することもできる。先生の気持ちや考えなど，地域コーディネーターやボランティアに伝えてほしい。

## 3 お知らせ

- 平成26年3月に「魅力ある学校づくり地域協議会活性化実践事例集」を発行いたしました。教育情報システムの生涯学習課キャビネットにデータを格納しております。協議会の組織体制や活動のステップアップのため，そのヒントとして，是非，ご活用ください。